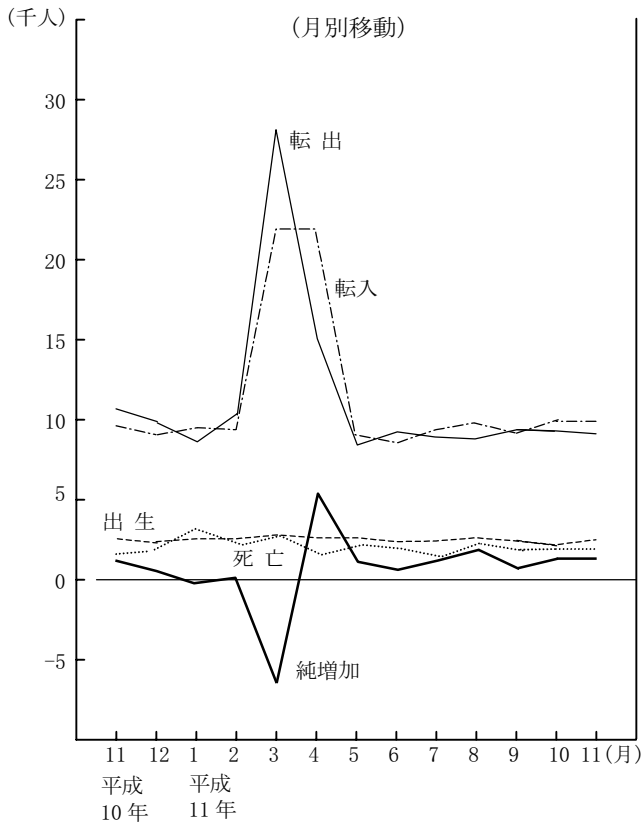
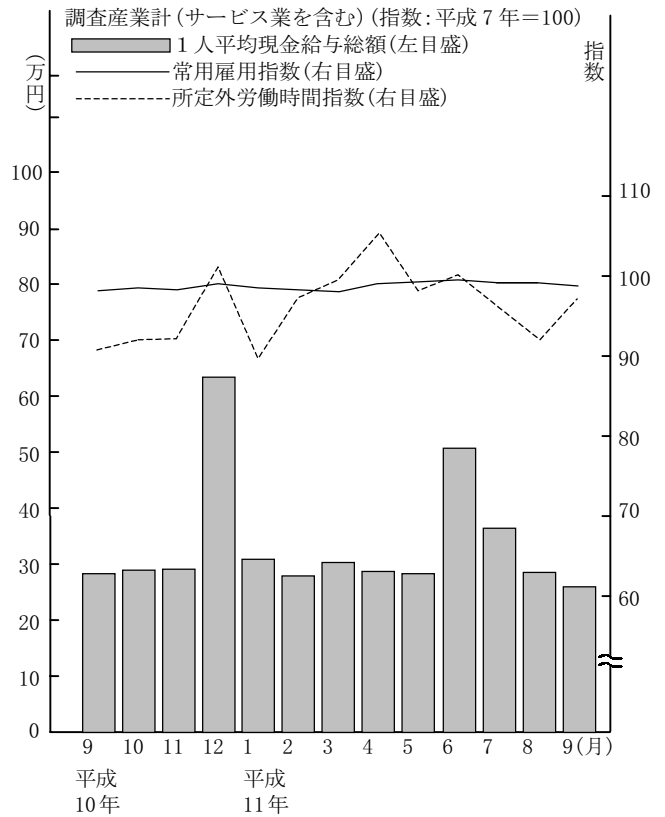


今月の主な動き

人 口



賃金・労働時間・雇用



■ 人口 (11 年 12 月 1 日)

11 月の概況

本県の人口は、11 月中に 1,247 人増加し、12 月 1 日現在で **3,001,469 人** (男 1,498,114 人, 女 1,503,355 人) となった。

内訳は、自然動態で、465 人 (出生 2,402 人, 死亡 1,937 人) 増加し、社会動態で、782 人 (転入 9,968 人, 転出 9,186 人) 増加した。前年同月と比べると 5,977 人 (0.2%) の増加である。

市町村別では、増加が 15 市 32 町村, 減少が 5 市 30 町村, 増減なしが 3 町村である。

世帯数についても 11 月中に 1,412 世帯増加し、**989,010 世帯**となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (11 年 9 月)

1. 平均賃金の推移

9 月の現金給与総額は、調査産業計で、**272,121 円**、対前年同月比 0.3% 増であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は 268,436 円、対前年同月比 0.5% 減、特別に支払われた給与は、3,685 円であった。

2. 労働時間

9 月の総実労働時間は、調査産業計で、**154.4 時間**、対前年同月比 1.3% 増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は 144.5 時間、対前年同月比 0.9% 増であった。所定外労働時間は 9.9 時間、対前年同月比 6.9% 増であった。

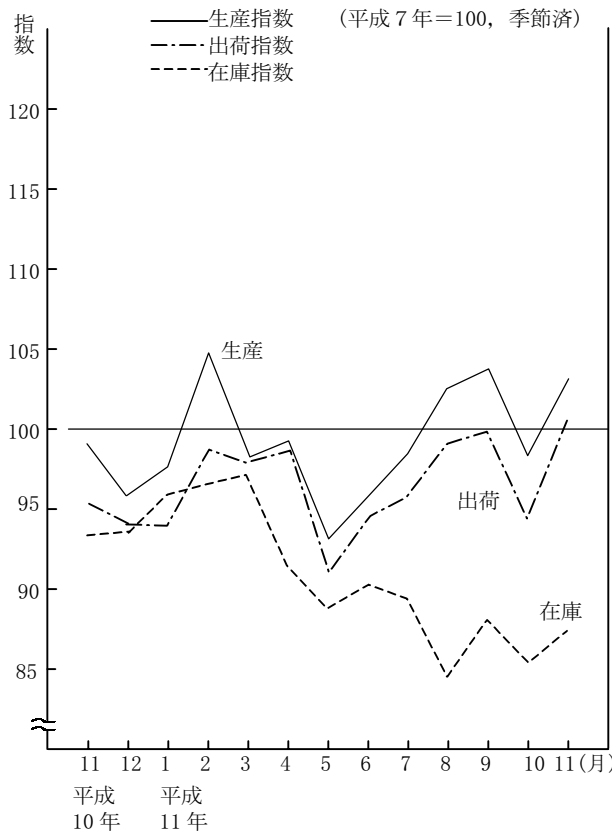
3. 雇用の動き

9 月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比 0.8% 増であった。

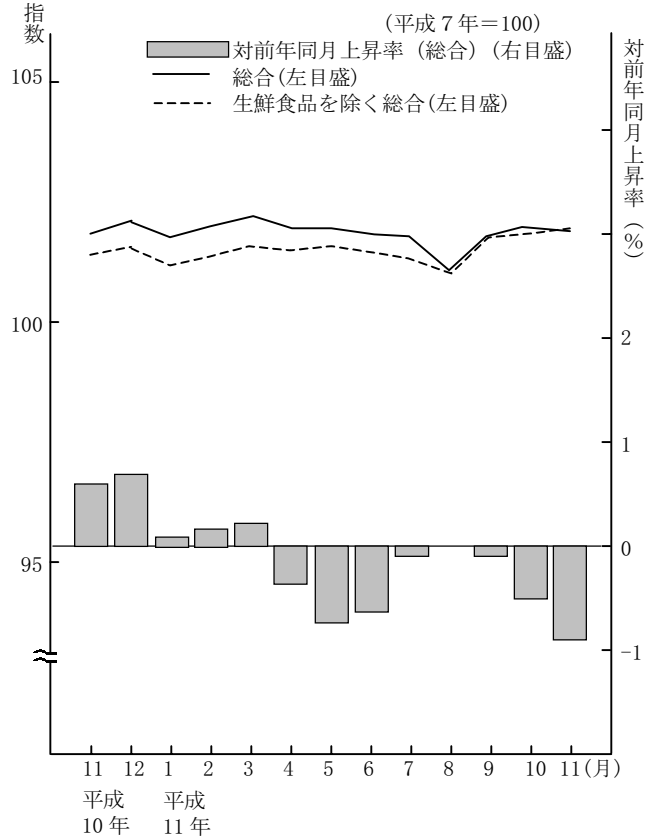
※この地方調査の結果は事業所規模 5 人以上です。

なお、事業所規模 30 人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（11年11月）

本県における平成11年11月の“鉱工業指数”（平成7年=100）は、季節調整済指数で、生産が103.1、出荷が100.4、在庫が87.4であった。

- 1 生産の前月比は5.9%の上昇、前年同月比は3.5%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、輸送機械工業、一般機械工業等が上昇し、化学工業が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。
- 2 出荷の前月比は6.4%の上昇、前年同月比は4.8%の上昇であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、輸送機械工業、鉄鋼業等が上昇し、化学工業、プラスチック製品工業が低下した。財別にみると、資本財、耐久消費財等が上昇し、非耐久消費財が低下した。
- 3 在庫の前月比は1.7%の上昇、前年同月比は△4.7%の低下であった。業種別に前月比をみると、精密機械工業、プラスチック製品工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、パルプ・紙・紙加工品工業、その他工業、繊維工業等が低下した。財別にみると、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財が低下した。

■ 消費者物価指数（11年11月）

平成11年11月の茨城県消費者物価指数（県平均）は、総合で101.5（平成7年=100）となり、対前月比は（-）0.5%下落し、対前年同月比も（-）0.9%の下落となった。

- 今月の上がった主な項目・・・乳卵類 1.8%、
 今月の下がった主な項目・・・生鮮野菜（-）11.3%
 生鮮果物（-）14.8%
 生地・糸類（-）3.6%

生鮮食品を除く総合は101.8となり、対前月比、対前年同月比ともに増減なしであった。

■ 費目別指数

（平成7年=100）

区分	指数	上昇率 (%)		区分	指数	上昇率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	101.5	△0.5	△0.9	保健医療	111.3	0.2	△0.7
食料	101.5	△1.4	△2.5	交通通信	97.4	△0.1	△0.2
住居	101.8	0.0	0.2	教育	108.4	0.0	0.9
光熱・水道	101.2	△0.1	△0.7	教養娯楽	98.2	△0.4	△0.8
家具・家事用品	95.8	△0.4	△0.7	諸雑費	102.4	△0.2	1.6
被服及び履物	108.6	△0.1	△1.5	生鮮食品を除く総合	101.8	0.0	0.0